

グローリア女声合唱団 指揮:岸信介 ピアノ:由良 郁子

32年前に、聖フランチェスコゆかりのイタリア、アッシジへの“宗教音楽研修の旅”をきっかけに発足した合唱団です。それ以来、宗教音楽の持つ清澄な響きに魅せられ、岸信介先生ご指導のもと大切に歌って参りました。最近、新メンバーも加わり平均年齢も若くなり、活気に満ち難曲に取り組んでいるところです。当日は新実徳英先生の作品から「無声慟哭」より松の針「3つのアヴェ・マリア」よりSalve Reginaをお聴きいただきます。

アンサンブル 涯 指揮:片野 秀俊 ピアノ:木村 裕平

1998年12月、指揮者 片野秀俊氏のもとにアカペラを中心に透明で緻密なアンサンブルを目指して結成された女声アンサンブルグループです。これまでに四回の演奏会と三回のクリスマスコンサートを開催する他、ヴォーカルアンサンブルコンテスト(現春こん)や合唱祭に参加しながら、自分たちの音楽表現を求めて活動しています。2007年「詩と音楽の会」、2011年女声合唱愛唱歌集「歌のブーケ」出版記念演奏会に出演し、「歌のブーケ」は全日本合唱連盟によってCD発売されています。2016年11月、第五回演奏会を開催予定です。

混声合唱団 麗鳴 指揮:中館 伸一 ピアノ:遠藤 有子

混声合唱団 麗鳴(れいめい)は1988年都立府中西高校 合唱部の卒業生が中心となって結成されました。その後同高校出身以外からの団員も募集、現在は東京都内外の幅広い世代のメンバーで、指揮者中館伸一先生の情熱的な指導のもと活動中。定期演奏会の他、全日本合唱連盟主催の合唱コンクール、イベント等に参加しています。

浦和女声合唱団 指揮:岸信介 ピアノ:法嶋 晶子

1977年、旧浦和市の幼稚園の歌好きなお母さん8名で発足致しました。当初より岸信介先生のご指導を頂けるというとても幸せなご縁に恵まれ、そしていつの間にか40年も経ち、その間にコンクール、おかあさんコーラス全国大会、海外演奏など様々な経験をさせて頂いております。現在50名の団員は8月6日(土)の「紡の会演奏会」への参加、来年の「創立40周年記念演奏会」開催に向け、より良い音を求めて心をひとつにし、気持ちだけは若い頃と変わらずに楽しく頑張っております。

混声合唱団 コール・ペーレン 指揮:川上 久美子 ピアノ:島田 順子

1995年熊本出身のコーラス愛好者が、同郷の川上久美子先生を指導者として混声合唱団を結成し昨年20周年を迎えました。名称を「混声合唱団 コール・ペーレン」とし第1回演奏会を東京オペラシティ・リサイタルホールに於いて開催いたしました。渋谷合唱祭、熊本県人会、定期演奏会などで、さくらホール、トッパンホール、津田ホール、横浜みなとみらい大ホール等のステージを経験しながら、積極的に活動しています。2011年には熊本県立劇場コンサートホールで満席となる1200人の応援を頂き、念願の里帰り公演を実現させました。発足当時から現在においても同郷人グループの合唱団は異色ですが、故郷への溢れる思いと、音楽への熱いエネルギーが団員の力と勇気になっています。いまでは熊本県人以外の方も加わりさらに楽しい歌の輪が広がっています。このたびは嬉しい出演のお誘いを頂き、素晴らしいホールで日頃の成果を皆様にお届けできますことを心から感謝いたします。

緑フラウエンコーン 指揮:松村 努 ピアノ:安藤 江浪

横浜市内の私立学校PTAコーラスとして約10年の活動の後、1995年6月、PTAを離れ横浜市北部を活動の拠点とした一般合唱団としての活動開始。PTAコーラス時代から継続して松村努先生にご指導いただき、美しい響きと豊かな表現での合唱をめざして毎週明るく楽しく練習しています。二年ごとの演奏会や、毎年のおかあさんコーラス、合唱コンクール等のステージでさまざまなジャンルの曲に取り組み、表現の幅を広げながら成長中です。おかあさんコーラス全国大会3回出場、2012、15年ひまわり賞受賞。2016年7月16日、横浜みなとみらいホール・大ホールにて第10回演奏会を開催予定です。

合唱団お江戸コリアーズ(招待演奏) 指揮:山脇 卓也

1998年結成したアマチュア男声合唱団。音楽監督である伊東恵司氏(なわコリアーズ等指揮者)の「関西がナニワやから、東京はお江戸でしよ」という一言から「お江戸コリアーズ」と名乗る。「全員が主役」をコンセプトに精力的に活動中。全日本合唱コンクールにて金賞および文部科学大臣賞などを受賞。信長貴富氏に「男声合唱のための宮崎駿アニメ映画音楽集」、「ラグビー」、「Samann - 種を詩く人 - 男声合唱とピアノのために」を委嘱。

岸信介(企画・構成)

国立音楽大学声楽科卒業。指揮法を山田一雄、和声・合唱法を増田順平の各氏に学ぶ。1970～76年日本合唱協会コンサートマスターを務める。1981年のスイス国際合唱フェスティバル以降海外での演奏にも高い評価を得る。指導している合唱団の集まりである「紡の会」を主宰し、数々の新曲を委嘱初演している。NHK合唱コンクール等の審査員、各地の合唱祭の講師、講習会の講師等、多方面にわたり活躍している。また男声カルテット「クール・エスプリ」を結成、絶妙なハーモニーで各地で活躍している。全日本合唱連盟理事長、東京都合唱連盟顧問、日本合唱指揮者協会会員、日境文化協会会員、かなかわ合唱指揮者クラブ会員。NS-4クワトロメンバー。

佐々木 典子(特別出演・ソプラノ)

熊本県出身。武蔵野音楽大学卒業。ザルツブルク モーツァルテウム芸術大学オペラ科卒業、ウィーン国立歌劇場オペラスタジオを経て、6年間にわたりウィーン国立歌劇場専属歌手として活躍。ウィーン国立歌劇場「影なき女」、「フィガロの結婚」、「リゴレット」、「ルサルカ」、「死の都」等多数出演の他、ザルツブルク「ドン・ジョヴァンニ」、「ドン・アンナ」とマトゥリーナ、ザルツブルク宮廷歌劇場「ジャンニ・スキッキ」、「ラウレツタ」等に出演。

ショルティ、アバド、レヴァインなど著名な指揮者と共演。ウィーン国立歌劇場日本公演、ザルツブルク音楽祭等に出演。帰国後、『こもり』ロザンデ、『魔笛』パミーナ、『真夏の夜の夢』ヘレナ、『フィガロの結婚』伯爵夫人、『ニュルンベルクのマイスター・ジンガー』エーファ、『ばらの騎士』元帥夫人と大喝采を浴び、新国共催「鳴神」雲の絶間姫、宮本亜門演出「ドン・ジョヴァンニ」ドン・エルヴィーラ、『椿姫』ヴィオレッタ、『フィガロの結婚』伯爵夫人など好評を博す。特にリヒャルト・シュトラウスのオペラでは06年「ダナエの愛」、07年「ダフネ」、08年「ばらの騎士」の元帥夫人、『ナクソス島のアリアドネ』プリマドンナ/アリアドネ、09年「カプリッチョ」伯爵令嬢マドレーヌで観客を魅了した。リヒャルト・シュトラウスの曲はライフワークとしており、作品に対する深い理解に基いた精緻でありながら艶やかなディクションの素晴らしい歌唱で群を抜き、内外でも比肩する者は少ない。レコードは『マダム・バタフライ』影なき女、『エレクトラ』その他現代曲を多数録音しており、2009年11月、ナミレコードよりCD「R.シュトラウス: 歌曲集「至福のうた」」をリリースし高い評価を得ている。2012年3月の二期会ゴールデンコンサートでもオール・リヒャルト・シュトラウス・プログラムで歌曲リサイタルを開催する。90年熊本市女性賞授与。2000年第2回ホテルオーケラ音楽賞受賞。2014年度東燃ゼネラル音楽賞 洋楽部門本賞。東京藝術大学教授。二期会会員。



- 【交通案内】
- 四ツ谷駅(JR線・丸ノ内線・南北線)麹町口ほか 徒歩6分
 - 麹町駅2番出口(有楽町線) 徒歩8分
 - 赤坂見附駅D出口(銀座線・丸ノ内線) 徒歩8分
 - 永田町駅7番出口(半蔵門線・有楽町線) 徒歩8分